



平成 29 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社東邦システムサイエンス  
代表者名 代表取締役社長 村上 宣夫  
(コード番号 4333 東証第一部)  
問合せ先 執行役員経理部長 吉田 博英  
(TEL. 03-3868-6060)

## 中期事業計画 業績目標の修正に関するお知らせ

当社は平成 27 年 5 月 14 日に公表した 2017 年度（平成 30 年 3 月期）を最終年度とする 3 ヶ年の中期事業計画の業績目標を、本日公表の平成 29 年 3 月期決算の内容を踏まえ下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績目標の修正（平成 30 年 3 月期）

	売 上 高	営 業 利 益	営業利益率
前回公表目標 (A)	15,500 百万円	1,550 百万円	10.0%
今回修正目標 (B)	12,800 百万円	1,180 百万円	9.2%
増減額 (B-A)	△ 2,700 百万円	△ 370 百万円	△ 0.8%

#### 2. 修正理由

本中期事業計画では、「トリプル 30 プラン ～お客様の満足のために～」を目標に、「継続的かつ安定的な事業拡大（売上高 30 億円 UP、営業利益 10%の達成）」、「社員満足度の向上（満足度 30%向上で社員活性化と質の向上）」、「モノ作り力の向上（生産性・品質の 30%向上で付加価値向上）」を重点戦略に据えて活動してまいりましたが、中期事業計画最終年度となる今年度の業績予想は、金融機関を中心とした大型案件の受託規模縮小、開発要員の不足、新規事業の立ち上げ遅れ等により、現時点では業績予想が目標額を下回ったため、目標を修正させていただきます。

今回発表の業績目標につきましては、一層の営業力の強化、開発力の強化に取り組み、達成を目指してまいります。

なお、中期事業計画の重点戦略である、「社員満足度の向上」、「モノ作り力の向上」につきましては、勤怠環境の改善に向けた諸施策の実施、女性の活躍できる職場環境の整備及びお客様満足度向上への積極的取り組み等により、引き続き従来目標の達成に向け活動してまいります。

※本資料における数値は現時点で入手可能な情報に基づいた見通しです。実際の業績等は業況の変化により上記予想と異なる場合があります。

以 上